

令和8年4月1日

令和8年度 大田区立安方中学校経営方針

大田区立安方中学校  
校長 谷山 優司

【教育目標】

学ぶ 鍛える 思いやる

【本校が目指すべき学校像】

- ・本校にかかわる誰しもの支えとなる存在であり続ける学校
- ・生涯にわたり学びを手段として活用し、学び続ける力を育む学校
- ・地域と協働して地域のランドマークとして未永く愛される学校

本校の教師が目指すものは、おおた教育ビジョンの理念である「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育む」の実現です。その実現のために、次の3点を重点として推進します。

1. 教師自らが人権感覚を高め、豊かな人間性を発揮するとともに、思いやる心の大切さや互いを思いやる心の大切さについて日々生徒に指導していきます。そして教師は生徒の伴走者として、生徒一人一人の良さを保護者とともに伸ばしていくことを通して、誰一人取り残さず安心・安全に学習、生活しながら日々成長できる学校を創ります。
2. 生徒が自ら学び、自ら考え、自らが創造する経験を、授業だけでなく、学校教育活動全般で享受できるよう工夫された学習環境を整えていきます。そして生徒が学習した内容を単一の教科のみで教師が学力としてみるのではなく、生徒自らが教科で学んだ力を他の教科間や日常生活の中で発揮し、成長を自ら感じ取ることができるように、指導します。
3. すべての教師が教育の専門家としての力量を発揮し、生徒とともに学校の歴史を築いていこうとする熱意のもと、保護者・地域と協働して未来を創造できる強靱な学校組織を目指します。

【めざす学校の姿】

- ・ 生徒一人一人の人権を尊重し、大切にしている学校
- ・ アサーティブなコミュニケーションが日常化している学校
- ・ 心理的な健康が保証され、安全である学校
- ・ 学校、保護者、地域、近隣教育機関（小学校、保育園・幼稚園、こども園及び高等学校）とが連携し、協力し合う学校
- ・ ライフ・ワーク・バランスを考え、各自が自らの方法で効率的かつ生産性を上げ、イノベーションが発揮できる学校
- ・ 地域に根差し、「白亜の校舎」として未永く愛され親しまれ続ける学校

### 【めざす教師の姿】

- ・ 相手意識をもち倫理感があり、高い人権意識と感覚をもつ教師
- ・ 教育者として誇りをもち、誰からも信頼される教師
- ・ 誰一人とも取り残さず、優しさと温かさあふれる心を持った教師
- ・ 規律を重んじ、必要な厳しさを一人一人の生徒に合わせて指導ができる教師
- ・ 研修と修養に自ら励み続ける教師
- ・ 業務ごとに使う時間の適正化を考えながら業務内容の質的向上に励む教師
- ・ 職層に応じたマネジメント力を発揮し、積極的にOJTに取り組む教師

### 【めざす生徒の姿】

- ・ 自他共に良いところを見つけ、誰に対しても心優しい生徒
- ・ 客観的な視点と想像力をもち、他者と積極的にコミュニケーションを図りながら、協働する生徒
- ・ 自ら目標をもち、様々な条件の中でいかに力を発揮できるか考え、努力できる生徒

## 教育目標を達成するための指導の重点

### 1. 本校にかかわる誰しもの支えとなる存在であり続ける学校

- ・ 講演会などを通して、多様な人権課題について生徒が考える機会を意図的に設定した人権教育を推進します。
- ・ 特別の教科道徳や学級活動のほか、いじめ防止撲滅宣言等、日ごろの学校生活全般において、いじめ防止に関する取組を実施し、いじめを絶対に許さない心を育みます。
- ・ 教育相談部会を定期的に開催し、生徒の支援方法について常に共有するとともに、WebQUの結果を分析し、本校の状況をリアルタイムで把握するなど、必要に応じた手だてが速やかに講じられるよう、組織的に対応します。
- ・ 生徒誰しものが学年や担任等だけでなく校内にいる様々な大人に相談できるよう、授業以外の場面でも学年を超えて生徒と教員や職員がかかわる機会を創出します。
- ・ 規律ある学校生活を送ることができるようにするため、保護者と常に連携し、指導するとともに、地域ぐるみでも規範意識の向上を行います。
- ・ 多様な生徒に適合した支援方法について校内研修を実施し、特別支援に対する見識を深めるとともに、小中一貫教育において各学校での取組を共有し、充実を図ります。

### 2. 生涯にわたり学びを手段として活用し、学び続ける力を育む学校

- ・ 学びに向かう力等に関する意識調査の結果を活用し、生徒の状況を把握するとともに、他の調査結果を分析し、学習指導に活かします。
- ・ 学習室及び多目的室における学習教室のコンテンツを強化し、「安方寺子屋（仮称）」事業として地域学校協働本部とともに地域運営による持続可能な取組を推進します。
- ・ 本校の強みである学校図書館機能を活かし、読書の良さや楽しさを読書学習司書と連携して啓発します。
- ・ 教職員だけでなく、補助員・支援員を活用し、様々な生徒が様々な形で学ぶ機会が得られる支援体制を整えます。

- ・ 専門家や起業家等などから直接話を聞くアントレプレナーシップ教育の推進や、地域と連動した地域学習の実施などキャリア教育の充実を通し、中学校版おおたの未来づくりの実施に向けたSTEM教育の推進を行います。
- ・ ALTを活用した英語カフェを実施します。

### 3. 地域と協働して地域のランドマークとして末永く愛される学校

- ・ 7月を目途にコミュニティ・スクールへ移行し、学校運営協議会を核とした学校運営を行っていきます。
- ・ 改築工事を期に、改めて地域に溶け込み、末永く愛される学校を目指し、学校運営協議会を中心に「安方ランドマークプラン（仮称）」を作成し、安方中のこれまでのレガシーとこれからの創造を結び付けた新たな学校づくりに取り組みます。
- ・ 学校公開、運動会や安方フェスティバル等の行事を通じた教育活動を積極的に公開するとともに、学校便りの月例化、ホームページやtetoruの活用、PTA便りとの連動など様々な形態によるバランスよい情報発信を行っていきます。
- ・ 各種検定試験を実施するとともに、持続可能な検定試験の継続的な実施に向け、地域移行を検討します。